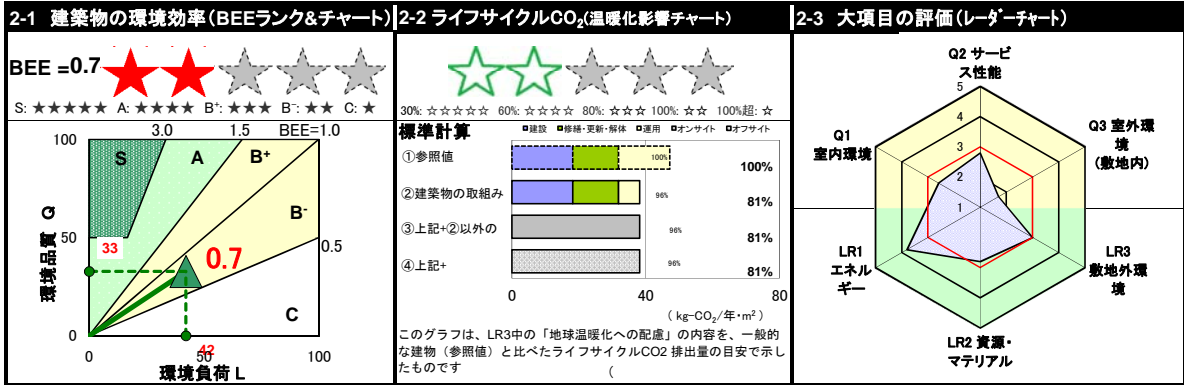


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	長谷川細包交運名古屋支店	階数	地上3F
建設地	北名古屋市中之郷神明43番地	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	10人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,800時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2014年8月8日
敷地面積	4,105.15 m ²	作成者	藤木工務店
建築面積	1,302.31 m ²	確認日	2014年8月8日
延床面積	3,139.78 m ²	確認者	藤木工務店



3 重点項目

①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積) 4.1 %
3.7	1.0	
②資源の有効活用	④地域材の活用	<外装材に使用した地域性のある材料> なし
3.0	1.0	<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮

LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用

Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性

LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化

Q-3 1 生物環境の保全と創出

④地域材の活用

Q-3 2 まちなみ・景観の配慮 4) 地域性のある素材による良好な景観形成

$$\text{外構緑化指数} = \frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積 (建築面積及び附属物面積) を除いた}} \times 100$$

$$\text{建物緑化指数} = \frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}} \times 100$$



スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	県独自基準	重点項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.3
Q1 室内環境										2.6
1 音環境										2.6
1.1 騒音										
1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-	-	-	
2 設備騒音対策				3.0	1.00	-	-	-	-	
1.2 遮音										
1 開口部遮音性能				3.0	0.40	-	-	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	3.0	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	3.0	-	-	
1.3 吸音										
				1.0	0.20	-	-	-	-	
2 温熱環境										2.4
2.1 室温制御										
1 室温				3.0	0.71	-	-	-	-	
2 負荷変動・追従制御性				3.0	0.38	3.0	-	-	-	
3 外皮性能				3.0	0.25	3.0	-	-	-	
4 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-	-	-	
5 温度・湿度制御				-	-	-	-	-	-	
6 個別制御				-	-	-	-	-	-	
7 時間外空調に対する配慮				-	-	-	-	-	-	
8 監視システム				-	-	-	-	-	-	
2.2 湿度制御										
				1.0	0.29	1.0	-	-	-	
2.3 空調方式										
				-	-	3.0	-	-	-	
3 光・視環境										1.7
3.1 昼光利用										
1 昼光率				1.8	0.25	-	-	-	-	
2 方位別開口				1.0	0.60	3.0	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	-	-	
3.2 グレア対策										
1 照明器具のグレア				1.0	0.30	-	-	-	-	
2 昼光制御				1.0	1.00	3.0	-	-	-	
3 映り込み対策				-	-	-	-	-	-	
3.3 照度										
				1.0	0.15	3.0	-	-	-	
3.4 照明制御										
				3.0	0.25	3.0	-	-	-	
4 空気環境										3.7
4.1 発生源対策										
1 化学汚染物質				4.0	0.71	-	-	-	-	
2 アスベスト対策				4.0	1.00	3.0	-	-	-	
3 ダニ・カビ等				-	-	-	-	-	-	
4 レジオネラ対策				-	-	-	-	-	-	
4.2 換気										
1 換気量				-	-	3.0	-	-	-	
2 自然換気性能				-	-	3.0	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮				-	-	3.0	-	-	-	
4 給気計画				-	-	-	-	-	-	
4.3 運用管理										
1 CO ₂ の監視				3.0	0.29	-	-	-	-	
2 喫煙の制御				1.0	0.50	-	-	-	-	
				5.0	0.50	-	-	-	-	
全館禁煙である				-	-	-	-	-	-	
Q2 サービス性能										2.8
1 機能性										1.7
1.1 機能性・使いやすさ										
1 広さ・収納性				1.0	0.40	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	3.0	-	-	-	
3 バリアフリー計画				1.0	1.00	3.0	-	-	-	
1.2 心理性・快適性										
1 広さ感・景観				2.0	0.30	-	-	-	-	
2 リフレッシュスペース				-	-	3.0	-	-	-	
3 内装計画				1.0	0.50	-	-	-	-	
3.0				3.0	0.50	-	-	-	-	
1.3 維持管理										
1 維持管理に配慮した設計				2.5	0.30	-	-	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	-	-	
3 衛生管理業務				2.0	0.50	-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性										3.0
2.1 耐震・免震										
1 耐震性				3.0	0.48	-	-	-	-	
2 免震・制振性能				3.0	0.80	-	-	-	-	
3.0				3.0	0.20	-	-	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数										
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.33	-	-	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.25	-	-	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.25	-	-	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				-	-	-	-	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.17	-	-	-	-	
				3.0	0.25	-	-	-	-	

2.4 信頼性				3.0	0.19			
1 空調・換気設備				3.0	0.33			
2 給排水・衛生設備				-	-			
3 電気設備		②		3.0	0.33			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.33			
5 通信・情報設備				-	-			
3 対応性・更新性				4.1	0.29			4.1
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31			
1 階高のゆとり			階高3.9m以上である	5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ			壁長さ比率0.3未満	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			積載荷重4,500N/㎡以上	5.0	0.31			
3.3 設備の更新性				3.0	0.38			
1 空調配管の更新性				3.0	0.20			
2 給排水管の更新性				-	-			
3 電気配線の更新性				3.0	0.13			
4 通信配線の更新性				3.0	0.13			
5 設備機器の更新性				3.0	0.27			
6 バックアップスペース				3.0	0.27			
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40			1.7
1 生物環境の保全と創出	●	③		1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮	●	④		2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30			2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	●	④		2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-			3.3
LR1 エネルギー				-	0.40			3.8
1 建物の熱負荷抑制				-	-			-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.29			3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用				3.0	0.50			
2.2 自然エネルギーの変換利用				3.0	0.50			
3 設備システムの高効率化			ERR35%以上	5.0	0.43			5.0
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)				5.0				
集合住宅の評価				3.0				
4 効率的運用				3.0	0.29			3.0
4.1 モニタリング				3.0	0.50			
4.2 運用管理体制				3.0	0.50			
LR2 資源・マテリアル				-	0.30			2.8
1 水資源保護				3.0	0.15			3.0
1.1 節水				-	-			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	1.00			
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減				2.5	0.63			2.5
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.07			
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.21			
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	●	②		1.0	0.21			
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組	●			3.0	0.25			
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22			3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用				5.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68			
1 消火剤				-	-			
2 発泡剤(断熱材等)				-	-			
3 冷媒				3.0	1.00			
LR3 敷地外環境				-	0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		①	LCCO2が参照値と同等	3.7	0.33			3.7
2 地域環境への配慮				2.3	0.33			2.3
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25			
1 雨水排水負荷低減	●			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			
3 交通負荷抑制	●			3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			
1 騒音	●			3.0	0.50			
2 振動	●			-	-			
3 悪臭				3.0	0.50			
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制				3.0	0.40			
1 風害の抑制				3.0	0.70			
2 砂塵の抑制				3.0	-			
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			
3.3 光害の抑制				3.7	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			広告物照明をおこなっていない	4.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			

重点項目スコアシート
長谷川細包交通名古屋支店

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-あいち2011年度追補版Ver.2 (E)

■評価ソフト:

CASBEE-NCb_2011 (bpi&bei) v.1.5_aichi

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	3.0	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	4.1	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	2.5	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.12	
④ 地域材の活用				1.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 長谷川梱包交運名古屋支

計画上の配慮事項	
総合	注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 気密性や機器効率への配慮により、環境負荷の低減に努めた。
Q1 室内環境	注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 全面的にF☆☆☆☆を採用している。 全館禁煙である。
Q2 サービス性能	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 階高と積載荷重には大きくゆとり持たせている。 壁長さ比は、0.3未満である。
Q3 室外環境(敷地内)	注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 植栽により、良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 高効率機器を採用している。
LR2 資源・マテリアル	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 ODP=0の機器を採用している。
LR3 敷地外環境	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 適切な量の駐車スペースと荷解き用車両の駐車施設を確保している。
その他	注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。